

令和二年度

事業報告書

「忠恕・敬愛・感謝」

目 次

I 総務課	1
II 事業部	2
〔1〕 各種委員会・会議等	2
〔2〕 研修	3
1. 外部研修	3
2. 内部研修	3
〔3〕 年間行事	3
〔4〕 アクティビティ	3
〔5〕 実習・見学等	6
1. 実習・見学受け入れ	6
2. 一般の見学	6
〔6〕 ボランティア	6
〔7〕 医務室	6
〔8〕 栄養	8
〔9〕 特別養護老人ホーム	9
1. 在籍	9
2. 退居	10
3. 新規入居	10
4. 入居申し込みと待機者状況	11
5. 入院実績	11
6. 要介護度推移	12
7. 平均年齢推移	12
8. 収入段階、利用料	12
9. 外出	13
10. 外泊	13
11. 面会	13
12. 相談員の業務を振り返って	13
13. その他	13
14. ケアプラン	14
15. 介護	14
〔10〕 デイサービス	16
〔11〕 ショートステイ	17
〔12〕 居宅介護支援事業所	18

1. 総務課

〔1〕 【自衛消防訓練等】

※新型コロナウイルス感染予防のため中止としました。

〔2〕 【職員健康診断】

1. 第1回目

日 時 令和2年8月25日 午前9時から午後0時

内 容 全職員対象

受診人数 76名

協力病院 医療法人社団清心会 至聖病院

健診内容 問診・聴診・身長・体重・腹囲・視力・聴力・血圧・心電図・胸部X P（間接撮影）・尿検査（糖・蛋白・ウロビリノーゲン・潜血）・抹消血液一般（白血球数・赤血球数・血色素量・ヘマトクリット）・GOT・GPT・ γ -GTP・総コレステロール・HDL-コレステロール・中性脂肪・血糖・ヘモグロビンA1C

2. 第2回目

日 時 令和3年2月25日 午前9時から午後0時

内 容 夜勤職員対象

受診人数 51名

協力病院 医療法人社団清心会 至聖病院

健診内容 問診・聴診・身長・体重・腹囲・視力・聴力・血圧・心電図・胸部X P（間接撮影）・尿検査（糖・蛋白・ウロビリノーゲン・潜血）・抹消血液一般（白血球数・赤血球数・血色素量・ヘマトクリット）・GOT・GPT・ γ -GTP・総コレステロール・HDL-コレステロール・中性脂肪・血糖・ヘモグロビンA1C

3. ストレスチェック

日 時 令和2年年8月

内 容 全職員対象

受診人数 77名

協力病院 医療法人社団清心会 至聖病院

Ⅱ 事業部

〔1〕各種委員会・会議等

1. 入居検討委員会

今年度も申込書の記入内容と相談内容により、県の優先順位の規定に基づき検討した事が確認されている。

2. 入居判定会議

入居申込者の中から優先順位の高い方の面談調査を行い、ご家族の意向とご本人の状態を基に、各フロアでの対応と生活介護上の課題について検討し、会議で検討された方は全員入居可となった。

3. 医療的ケア安全対策委員会

認定特定行為業務従事者登録を行った介護職員が、看護師の指導にて安全に医療的ケアが行えるよう、その仕組みや方法について検討した。

4. 衛生管理委員会

産業医の指導の下、入居者様や職員の健康管理について検討を行った。施設内巡視の内容を見直し、巡視結果を評価（採点）することで、問題点を顕在化させ職場環境の改善に努めることができた。

5. 感染症対策委員会 12回

6. 防災委員会 随時

7. 苦情対策委員会 12回

8. 事故・身体拘束防止委員会

委員会では、それぞれの事故についての原因究明と再発防止に努め、全職員が統一した認識を持って事故防止に取り組めるよう、施設内で起きた全ての事例を、全ての部署で確認できるようにした。

9. 栄養管理委員会 12回

10. 行事委員会

新型コロナウイルス感染症対策として、「八瀬の里まつり」やボランティアによる行事は中止とし、「敬老会」は、各階にて表彰式を実施した。

11. 褥瘡対策委員会

現在褥瘡が発症している方の状態報告と、褥瘡になる可能性がある方について、看護師と栄養士、介護職を協同して改善策を検討した。

12. 排泄委員会

「おむつゼロ」への取り組みで、排泄習慣の確認や排便状況の情報収集を行った。おむつ使用量の減少や、摂取水分量の増加、下剤使用量の減少など、一定の成果が見られた。オムツ対応だった方をトイレに誘導する機会も増えている。陰部洗浄も積極的に行った。より良い排泄介助、より良い介護の提供へと取り組んでいく。

13. 看取り介護委員会 12回

14. 研修委員会 新型コロナウイルス感染防止のため中止

〔2〕研修

1. 外部研修

研修日	研 修 名	参加人数
9月2日	安全運転管理者等講習	1名
合計		1名

2. 内部研修

研修日	研 修 内 容	参加人数
9月21日	看取り介護研修会（R2. 9. 21～R2. 11. 16）	62名
11月20日	看取り介護研修会（R2. 11. 20～R3. 1. 31）	65名
合計		名

〔3〕年間行事

月 日	行事名	行事内容
4月上旬	お花見	施設周辺を散歩し写真に収めた。
6月5日	収穫祭 （梅狩り）	収穫した梅の実で梅ジュースを作った。
9月12日	敬老会	敬老会を開催した。昼食会を楽しまれた。
9月29日 10月20日	屋台レク	八瀬の里祭りの代わりとしてフロアでの屋台レクを企画した。模擬店を開催し、賑やかなお祭り気分を味わって頂いた。屋台レクの様子を写真や動画に収めDVDを作成した。

〔4〕アクティビティ

各ユニットで企画された、季節に応じたアクティビティが、下記の通りに実施された。

表1. 実施アクティビティ一覧

実施日	参加人数	レク内容	誕生日会	食事内容	買い物、行き先
4月	14	食事レク		寿司	銀のさら
	15	食事レク	誕生日会	たこ焼き	
	14	おやつレク	誕生日会	ケーキ	
	16	食事レク		ちらし寿司	
	13	食事レク		お好み焼き、焼きそば	
	13	食事レク		たこ焼き、焼きそば	
	14	おやつレク		ケーキ	
	13	おやつレク		ケーキ	
	12	おやつレク		ケーキ	
	13	おやつレク	誕生日会	シューパフェ	

5月	13	おやつレク	誕生日会	ケーキ	
	13	食事レク	誕生日会	鍋	
	16	おやつレク	誕生日会	ケーキ	
	15	食事レク	誕生日会	オムライス	
	14	おやつレク		プリンアラモード	
6月	15	食事レク		お稲荷	
	16	食事レク	誕生日会	クロックムッシュ、リゾット	
	15	おやつレク		プリンアラモード	
	16	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
	13	食事レク	誕生日会	焼うどん、たこ焼き	
	13	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
	15	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
7月	32	おやつレク		かき氷	
	32	おやつレク		かき氷	
	8	おやつレク	誕生日会	ロールケーキ	
	14	食事レク		素麺	
	15	食事レク	誕生日会	たこ焼き	
	15	おやつレク		パンケーキ	
	14	食事レク	誕生日会	素麺	
	14	食事レク		素麺	
	15	食事レク		寿司	銀のさら
	12	食事レク		お好み焼き	
	16	おやつレク		ホールケーキ	
	16	食事レク			
	31	おやつレク		かき氷	
	15	おやつレク	誕生日会	ホールケーキ	
	8月	15	食事レク	誕生日会	ちらし寿司
7		おやつレク	誕生日会	ケーキ	
15		食事レク		寿司	
9月	13	食事レク		お好み焼き	
	13	おやつレク		フルーチェ	
	32	屋台レク		お祭りメニュー	
	15	食事レク		五目寿司	
10月	15	食事レク		寿司	銀のさら
	32	屋台レク		お祭りメニュー	
	13	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
	16	食事レク		たこ焼き	
	15	おやつレク	誕生日会	ケーキ	

11月	14	食事レク		お稲荷	
	14	おやつレク		フルーチェ	
	6	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
	13	おやつレク	誕生日会	プリンアラモード	
	14	おやつレク	誕生日会	どら焼き	
	15	おやつレク		ホットケーキ	
	15	食事レク		お好み焼き	
	16	食事レク		もんじゃ焼き、焼きそば	
12月	14	食事レク		寿司	はま寿司
	16	食事レク	誕生日会	オムライス	
	15	おやつレク		お汁粉	
	13	食事レク		寿司	
	32	クリスマス		ケーキバイキング	
	16	食事レク	誕生日会	鍋	
	16	クリスマス			
	16	クリスマス			
1月	16	おやつレク	誕生日会	ホールケーキ	
	16	食事レク	誕生日会	お好み焼き、焼きそば	
	16	おやつレク	誕生日会	ホールケーキ	
	16	食事レク	誕生日会	焼きおにぎり	
	16	おやつレク	誕生日会	モンブラン	
	30	おやつレク		白玉お汁粉	
	13	食事レク		サンドイッチ	
2月	16	おやつレク	誕生日会	ホールケーキ	
	16	食事レク		お稲荷、焼うどん	
	16	食事レク		ちらし寿司、コロッケ、味噌汁	
	16	おやつレク		チョコケーキ	
	15	おやつレク		チョコケーキ	
3月	16	食事レク	誕生日会	チーズタッカルビ	
	12	おやつレク	誕生日会	ホットケーキ	
	16	おやつレク		桜餅	
	16	食事レク	誕生日会	寿司	はま寿司
	16	食事レク	誕生日会		ガスト
	16	おやつレク	誕生日会	パンケーキ	

〔5〕実習・見学等

1. 実習・見学等受入

新型コロナウイルス感染拡大の伴い、実習、見学等受け入れは自粛とした。

2. 一般の見学

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一般見学全般を自粛とした。

〔6〕ボランティア

新型コロナウイルス感染症対策として今年度は受け入れ中止した。

〔7〕医務室

主任 轟木まり子

4. 医務

「健康管理」に伴う基本方針

・入居者様の生活に障害となる疾病や症状に対して健康面からの管理を行う。入居者様ご自身がどんな生活を望んでいるかという視点で、入居者様が毎日の生活を快適に過ごすことが出来るよう支援する。

・特に、疾病予防医療に重点を置き、介護職員に対する医療面での情報提供、バイタルサインの読み取り方、それに基づく判断の仕方について教育し、健康管理サービスを提供する。

・それぞれの入居者様の意思を尊重し、入居者様ご自身、また、ご家族がどのような最期を望んでいるかを把握し、入居者様のリビングウィルに対応した健康管理サービスを提供する。

1. 早期発見・早期治療

①健康状態の把握

・毎日のユニット訪問での入居者様の体調確認と、介護職員からの情報により、入居者様の健康状態を適切に把握する。

②嘱託医による週1回の回診

・週1回の回診では、各フロアの月1回の定期回診に加え、体調不良や変化のあった入居者様について医師へ報告する。回診後はカンファレンスを実施し、看護師間で情報の共有し、同一内容でケアを提供する。

③医療機関による健康診断の実施（年1回、8月実施）

・全職員が健康診断の日程を理解し、当日正確な検査が出来るよう配慮する。

・健康診断受診後は、嘱託医師への結果報告を行う。その際入居者様の既応歴・現病歴を考慮して医師へ報告し、異常があれば早期に対応する。

2. 疾病予防

①日常の予防対策

・入居者様の生活の場であるユニットの環境整備及び入所者様、職員の衛生に関して医務としての助言をする。また、面会者に手洗い、うがいの実施、マスクの協力を要

請する。

・医療物品の定期的な消毒(1回/週)と医療処置時に出た物品の適切な消毒を行う。

②流行性疾患の予防対策として

- 1) インフルエンザ予防接種(実施11月)
- 2) 肺炎球菌ワクチン予防接種(希望者に回診時接種)
- 3) 新型コロナウイルスワクチン予防接種(実施予定5月)
- 4) 川越市PCR検査:1回/月(全職員対象)

日本財団PCR検査:1回/週(特養介護職・短期職員対象)

- 5) 感染症対策委員会の開催(毎月1回第3金曜日及び必要時)

③感染症発生時の対応と他の入居者様への予防対策

・入居者様が急な発熱、嘔吐・下痢などの症状や、感染性疾患が疑わしい場合は必要に応じて入居者様を個室隔離、ユニット隔離とし、感染予防の必要物品を配備して、他の入居者様への感染の拡大を防止する。

・入居者様に流行性疾患(インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス等)の診断が出た場合は、適切な対応が取れているか実際に感染委員を中心に現場を確認し指導する。又他部署への広報、予防策を提示する。

・職員に流行性疾患の疑いあるいは診断が出た場合は所属長に報告し指示を受けるよう助言する。

④褥瘡予防対策

- 1) 褥瘡予防対策委員会の開催(毎月1回第2金曜日)

褥瘡の予防・早期発見、褥瘡の悪化を防ぐため、定期的な評価を行い、介護職員、栄養士も交えて褥瘡予防対策、早期治癒に努める。

- 2) 外部研修への参加

より良いケアの実施を目指し、日々進歩・変化する治療法について学習し知識を広めて施設でのケアに繋げる。

3. 健康の維持・増進

・入居者様が快適に自分らしい生活を送れる様、入居者様それぞれの身体・生活状況を理解した上で、食事・排泄・睡眠について介護職員・栄養士・相談員とカンファレンスで情報を交換・共有し、入居者様が身体的・精神的に良い状態で生活を送れるよう支援する。

4. 治療医療

①的確な症状を把握し、症状に適した処置を行う。医療処置を要すると判断した場合は病院受診し、医師の指示を受ける。

②内服治療を要する入居者様については、内服薬の内容・量・回数を把握した上で業務を実践する。

③回診、受診で内服薬の変更・追加があった場合は、医務職員間の情報の共有だけでなくユニット職員へ説明し、誤薬のないようにする。

5. リビングウィルの確認及び看取り介護への取り組み

①リビングウィルの確認

・入居時にご本人、ご家族の希望を確認し、意思を尊重した健康管理サービスを提供する。また、入居後の健康状態の変化に合わせ、ご本人、ご家族の健康管理サービス及び医療に対するご希望をその都度確認し、対応する。

②看取り介護への取り組み

・入居者様、ご家族へのリビングウィルの確認時、延命処置を希望されない場合は、看取り介護への理解が出来、人間の尊厳や自然な形の生命のあり方を受容出来るよう、共に考え支援する。

1) 看取り介護の時期については、嘱託医の診断とご家族がきちんと理解し納得されたかを把握する。また、死に関する要望も確認する。

2) 医師、医療機関、職員、ご家族との連携を強化し、入居者様の状態の変化やその後の方針について報告・検討・確認する。看護師は24時間オンコール態勢を取り、入居者様の状態の変化に対応する。

3) 看取り介護に関する研修会を実施し、職員間の意識共有を図る。

6. 介護職員への医療知識の提供と一部医療処置の実施への取り組み

・施設において、看護師不在の夜間は特に異常であるかないかの判断は重要である。また、医療処置はその場で終わるものではなく、継続した観察も必要となる。そのため介護職員へは、

1) 適切なバイタルサインの測定方法と異常の判断

2) 異常症状が発生した場合の観察すべき内容・必要な処置

3) 薬剤の作用・副作用及び注意事項

について情報の提供・相互確認・実践出来るようにする。さらに、入居者様の苦痛の軽減を図るため介護職員による吸引、胃ろうによる経管栄養について一部医療処置の研修を実施する。

〔8〕栄養科

管理栄養士 主任 山田 みゆき

重点目標として、1. 「食べる喜びを、生きる喜びへ」2. 「個人への最適な栄養ケア」3. 「衛生管理の徹底」の三点を挙げ活動を行なった。

1. 「食べる喜びを、生きる喜びへ」

通常の食事では、入居者様個人に合わせた形態での提供を心掛け、特に汁物はとろみ付けをユニットで調整することに変更、より個人の状態に合わせての提供が出来た。毎月の行事食以外の食事レクでは恒例のメニューに加え、コロッセ・もんじゃ焼き・クロックムッシュ・チーズタッカルビ等、ユニット企画の計画書に沿って材料や調理工程を工夫し、今までにないメニューを入居者様・職員共に楽しんで提供することができた。

おやつレクでも、桜もち・モンブラン・どら焼き等新たなメニューに挑戦し、入居者様が調理に参加しながら楽しめるおやつの提供が出来た。

また、新型コロナウイルス感染防止のため八瀬の里まつりが中止になったことから、代替りのイベントとしてフロアでの屋台レクを企画書に沿って実施した。フロア職員が材料の買い出しや調理を行い、規模は小さかったものの入居者様に非日常を楽しんでいただけるイベントとなった。

実践計画に挙げた月1回の郷土料理提供は、感染防止のため委託業者のヘルプを要請できず残念ながら実施できなかった。次年度の実現に向けて調整を行う。

2. 「個人への最適な栄養ケア」

入居者様全員を対象とし、栄養ケア計画書の作成を行なった。栄養スクリーニングを行いアセスメントを実施すると共に、高リスク者は2週間に1度、中リスク者は1か月に1度モニタリングを実施しながら、3か月ごとの評価を基にプランの確認や変更を行った。低体重や体重が減少傾向にある方、食事摂取不良や体調不良の方への対応として、各部署と情報を共有し補食や嗜好・嚥下機能に合った食事を提供しながら日々の体調管理に努めた。栄養ケアカンファレンスにおいては体重コントロールのための低カロリー甘味料の使用や、排便コントロールのための水溶性食物繊維使用について提案することで個人の体調管理に努めた。

3. 「衛生管理の徹底」

平常時の対応に加え、新型コロナウイルス感染症発症時に対応するため、発症状況の情報共有方法、食事提供の細かい調整や施設栄養士が感染し不在となった場合の業務依頼等、施設と委託業者間でのルールを決め、緊急対応について確認することができた。また栄養管理委員会は、感染防止対策として「密」を避けるため、書面での内容確認を中心に協議・検討を行った。

〔9〕特別養護老人ホーム

生活相談員 遠藤孝治

1. 在籍

肺炎に伴う長期入院、療養型転院があり。3月31日の在籍者は88人となっている。

療養型施設への転出、入院の長期での空室日数があったが短期入所利用者の空床利用で居室稼働率は92%となっている。

次に入居して頂く対象者へは、当施設「優先入居に係わる取扱規定」による優先順位に基づき、入居順位検討結果を検討委員会実施月の月末又は翌月月初に送付している。ご家族や関係者各位に連絡し、入居して頂けるように手続きを進め、令和2年度における退居日から新規入居日までの期間は平均約14.4日間である。（空床利用者の調整含める）

表1に示す通り、平成31年度の男女比率は、男性が34%、女性66%とな

り、前年と同様に女性の入居割合が高くなっている。

表 1. 令和 2 年度入居者男女比率（令和 3 年 3 月 31 日現在）

	令和元年度		令和 2 年度	
	人数	割合	人数	割合
男性	31 名	34%	30 名	34%
女性	60 名	66%	58 名	66%
合計	91 名	100%	88 名	100%

2. 退 居

表 2 に示すように、令和 2 年度の退居者は 41 名であった。

表 2. 令和 2 年度退居者一覧

年 月	退居者数	退居理由
令和 2 年 4 月	5 名	罹災者支援 4 名 死亡 1 名（病院）
5 月	2 名	死亡 1 名（看取り）療養型 1 名
6 月	1 名	死亡 1 名（病院）
7 月	5 名	死亡 4 名（病院 3 名、看取り 1 名）療養型 1 名
8 月	4 名	死亡 4 名（病院）
9 月	1 名	死亡 1 名（看取り）
10 月	3 名	死亡 2 名（病院 2 名）療養型 1 名
11 月	4 名	死亡 2 名（病院）医療機関 1 名 療養型 1 名
12 月	3 名	死亡 1 名（病院）療養型 2 名
令和 3 年 1 月	7 名	死亡 3 名（病院 3 名）療養型 2 名 老健 2 名
2 月	1 名	死亡 1 名（病院）
3 月	5 名	死亡 4 名（看取り 2 名、病院 2 名）療養型 1 名
合計	41 名	

表 3. 年度別退居者数の推移（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
令 2	5	2	1	5	4	1	3	4	3	7	1	5	41
令 元	1	4	1	4	2	0	3	2	6	4	5	1	33

※医療機関から療養型病院（医療院）への転院が著しく増加

3. 新規入居

表 4 に示す通り、新規入居者様は 39 名、その内自宅待機 19 名、医療機関 20 名となっている。自宅待機者の方については、短期入所介護を長期間利用されているので今後はより迅速な入所対応に努める。

表 4. 令和 2 年度新規入居者一覧

年 月	新規入居者数	入居前の居所
4 月	4 名	在宅 2 名 医療機関 2 名
5 月	5 名	在宅 3 名 医療機関 2 名
6 月	2 名	在宅 1 名 医療機関 1 名
7 月	1 名	在宅 1 名
8 月	2 名	在宅 1 名 医療機関 1 名
9 月	6 名	在宅 4 名 医療機関 2 名
10 月	3 名	在宅 1 名 医療機関 2 名
11 月	6 名	在宅 3 名 医療機関 3 名
12 月	2 名	在宅 1 名 医療機関 1 名
令和 3 年 1 月	1 名	在宅 1 名
2 月	3 名	医療機関 3 名
3 月	4 名	在宅 2 名 医療機関 2 名
合 計	39 名	

表 5. 新規入居者の介護度と男女構成比

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
入居者(人)	3	0	11	15	10
女性	2	0	6	10	6
男性	1	0	5	5	4

表 6. 年度別新規入居者数の推移

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
令 2	4	5	2	1	2	6	3	6	2	1	3	4	39
令元	2	3	3	2	4	1	2	5	3	1	4	2	32

4. 入居申込みと待機者状況

令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月の間の新規申込は 53 件であった。コロナ禍において在宅からの入居には感染予防等を考慮しての入居を進める為、在宅待機日数が必然と増えてしまった。医療機関からの入居については退院前 PCR 検査を実施されており、入居時に於ける勘案事項が少なく在院日数を超えずに弊所への入居ができた。

取下げ理由に関しては市内に新設された特養への入居や待機期間中にご逝去される方と、待機期間が増えた事による在宅介護者の負担が増えた事が散見された。

5. 入院実績の推移

入院当初より医療機関から療養型（医療院）への転院を医師より勧められる事が依然として多く、本人及び家族の意思（終末期における看取り）に反

する退居が多く見られた。

退院後の予後も悪く、入院時の疾患とは異なる食意低下や褥瘡憎悪が顕著に見られ、本人及び介護者の負担が大きく増えた。

6. 要介護度推移

表9の通り、今年度一年間の介護度は、平均介護度4.0となっている。

表9. 要介護度の推移（令和2年度平均介護度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
介1(人)						1	1	1	3	3	3	3
介2(人)	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
介3(人)	28	27	26	26	26	26	27	29	26	26	26	26
介4(人)	38	35	35	36	34	36	37	37	36	35	34	36
介5(人)	26	30	31	31	30	29	29	30	30	29	26	27
令2平均介護度	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9
令元平均介護度	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0

7. 平均年齢推移

入居者平均年齢88.18歳（男性：83.65歳、女性：90.23歳）

表10. 平均年齢の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
女性	83.99	84.41	84.43	84.31	84.23	84.66	84.85	84.92	85.06	85.01	83.50	83.51
男性	90.14	90.48	90.11	90.18	89.93	89.75	89.80	89.78	89.89	89.89	90.05	89.78
令2年度全体	87.98	88.16	87.88	87.93	87.80	87.89	88.03	88.14	88.28	88.33	87.94	87.69
令元年度全体	87.98	88.07	88.31	88.45	88.33	88.35	88.22	88.97	88.15	89.17	88.28	87.84

8. 収入段階、利用料

収入段階による利用料は、第2、3段階が59となっている。女性の新規入居者様の第3段階人数が微増。第4段階が大きく減少している。

収入段階	令和2年度末		令和元年度末	
	人数	構成比率(%)	人数	構成比率(%)
第1段階	0	0	0	0
第2段階	16	18	14	10
第3段階	43	49	34	37
第4段階	29	33	43	53
合計	88	100	91	100

9. 外出

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う緊急事態宣言や、厚生労働省主導の下、対面式面会の自粛を面会者様へ要請したため看取り介護者以外での外出実績なし。

10. 外泊

今年度は新型コロナ感染症対策にてご家族様へ自粛を要請し実績なし。

11. 面会

厚生労働省主導の下、オンライン面会を実施。看取り対象者及びオンライン面会が困難な入居者については窓越し面会を実施。

次年度より段階的に窓越し面会を拡大する。

※対面式面会については、新型コロナウイルス感染規模縮小の兆しあるまでは自粛継続。

12. 生活相談員の業務を振り返って

世界的に猛威を振るっている「新型コロナウイルス（COVID-19）」感染拡大に伴い、入居前面談の自粛（大幅な時短）や施設見学の中止等、対面式での対応が困難な状況であった。

PCR検査の高精度化が進むも、在宅生活者のPCR検査費用自己負担問題があり、強制力を持たない状況下での判定会が開催できずに申込者からの苛立ちや苦情に繋がり、対応に苦慮した。

医療機関においては退院前のPCR検査や情報提供書の事前報告も相まって必然的に優先とさせて頂いた。

今後の課題としては、PCR自費検査や新型コロナウイルスワクチン接種についての確認を重視し、施設での感染対策を軸に入居手続きを進めて行く。

13. その他

(1) 居室の有効利用

感染対策として短期入居利用者の直接的な空床利用は勧めず、1週間空けての利用を開始した。

(2) ご家族への連絡

オンライン面会（LINE）を通じて、メッセージアプリ等を導入して頂ける方も増え、詳細な連絡に努めた。

(3) 新型コロナウイルスワクチン

ご家族様へ事前同意書及び説明書を送付し、接種準備を行った。

14. ケアプラン

介護支援専門員 黛 裕子

(1) ケアプラン・カンファレンス・モニタリング

各専門職それぞれに意見を述べてもらい、一人では気づけなかった課題を見直す事ができ、入居者一人ひとりに対し個別性のあるケアプラン作成ができた。

看取りの振り返りカンファレンスに於いては、事前にユニット内での話し合いの結果を持って臨んでいる事により、フロア職員全体による意見と多職種とでの振り返りカンファレンスを行う事ができた。作成したケアプランの情報を共有し、職員全体でモニタリングを行った。

(2) 看取り介護

多職種連携による日々の状況報告から、家族への意向確認を行い、看取り介護対象者へ繋げた。毎月の看取り介護のケアプラン会議では、多職種の意見を「サービス担当者会議の要点」に記録し、家族へ配布し状況報告に努めた。

(3) 家族への支援

コロナ禍での家族との面会は、リモートや窓越し面会などで対応し、日々の様子を電話連絡や計画書を見て頂き、体力的に面会が難しかった看取り介護の家族の方には、相談員、ケアマネが定期的に自宅へ訪問報告する事により、コロナ禍でも家族が不安なく過ごす事ができた。

15. 介護

2階

主任 渡辺理恵

入居者様が安全・快適な生活を送って頂ける様、ユニットリーダーがユニット会議や職員同士の話し合いの場を作る事で職員一人一人が入居者様と真剣に向き合い、統一した対応に努めた。今後は、よりご家族様とのコミュニケーションを図る事で、更なる生活の充実を図っていく。

入居者様の健康管理においては、食事・水分量が下降している入居者様への対応として、職員間で意識を持ち、医務や栄養課、ケアマネ等と連携しながら食事・水分量の確保に努めた。今後も食事・水分への意識を継続して、確保に努めていく。

感染症対策としては、新型コロナウイルス対策に伴い換気・消毒・うがい手洗いを職員全員に伝達し徹底した。またインフルエンザも発症せず対策がとれた。次年度も、引き続き感染対策・感染予防に努めていく。

入居者様に楽しみのある生活を送って頂ける様、新型コロナウイルスの対策をしながら毎月1回のペースで、昼食レクや季節に合わせた全体レクを実施した。次年度も引き続き、新型コロナウイルス対策誕生日会や季節に合わせたレクリエーションを企画していく。

環境整備として入居者様の車椅子(空気圧の点検)と部屋の清掃(床、ポータブル清掃、洗面所、口腔コップや歯ブラシの消毒)を常勤・非常勤協力の元で計画的に実施をしてきた。今後も職員一同が清掃についても他の日常生活ケアと共に重要である事をしっかり認識し、より良い日常生活が送って頂ける様に清潔保持に努めていく。

3階

主任 荻野大輔

(1) ケアプラン

ケアプラン作成においては、ユニット会議等を定期的に開催し、職員一人一人が入居者様の現状に真剣に向き合い、情報共有を図る事で迅速且つ丁寧なケアプランの作成、確実な実践に繋げる事が出来た。

(2) 身体ケア

入居者様の体調管理においては、特に新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症防止に重点を置き、看護師との連携を強化し、発症を未然に防ぐ事が出来た。今後は、特に新型コロナウイルス対策において、職員一人一人がより危機意識を持ち、3密の回避(密閉、密集、密接)、自己管理(手洗い、うがい、検温)、PCR検査等、施設全体で最大限に万全を期し、入居者様、職員の生命の安全確保に努めていく。

(3) 精神的ケア

新型コロナウイルスの発生に伴い、外出の自粛、ご家族様とも満足のいく面会が出来ず、不安、ストレスを抱える中、入居者様に楽しみのある日常生活を送って頂く為、食に重点を置いたレクリエーションを積極的に開催し、大変喜ばれる様子が見られた。食事レクにおいては、宅配サービスの利用、おやつレクにおいては、新たなメニューの提供に繋げる等、より楽しみのお機会を増やす事が出来た。今後も入居者様の意向をしっかりと汲み取り、また入居者様が出来る限り一緒に企画参加していく事で、より良い支援へと繋げていく。

(4) 環境整備

環境整備においては、新型コロナウイルスの発生に伴い、手すり、ドアノブ等を含め、接触頻度の高い箇所を今まで以上に重点的、且つ丁寧な消毒作業に努める事が出来た。今後も職員一人一人が危機感を持って取り組んでいく。また、汚れが目立つ箇所としてご指摘のあった機械浴室、個浴室の清掃を計画的に実施し、清潔保持に努めていく。

(5) その他

勤務体制においては、5名の職員が退職され、厳しい状況が続いたが、職員一人一人がお互いを思いやり、助け合いながら業務に取り組む事が出来た。ただし、コロナウイルスの発生に伴い、多数の職員が不安、ストレスを抱えながら業務に当たり、その結果、体調を崩す者も居た。今後は、主任、ユニットリーダーが中心となり、職員が肉体的、精神的にも出来る限り支障をきたす事の無いように、また、日々の業務において、モチベーションを維持して行けるように注視していく。新入職員への教育、育成においては、プリセプター制度を実施しているが、まだ手探りの状態であり、十分に活用しきれていないのが現状である。今後は、制度の充実を図りながら取り組んでいく。

4階

主任 発知昭仁

入居者様が安全・快適な生活を送って頂ける様、ユニットリーダーが中心となり、対応に努めた。

事故防止においては、骨折1件発生した。(入浴後の着衣介助時)
次年度では、骨折事故ゼロを目標に入居者様のADLの状況を常に把握し、未然に防げ

る様に対策・対応をしていく。また、入浴・排泄のケアについても安心・安全なケアを常に検討し、適切なケアに努めていく。

入居者様の健康管理においては、食事・水分量が下降している入居者様への対応として、職員間で意識を持ち、医務や栄養課、ケアマネ等と連携しながら食事・水分量の確保に努めた。今後も食事・水分への意識を継続して、確保に努めていく。

感染症対策としては、疥癬が発生し、数名の入居者様へ拡散してしまった。ゾーニングと感染対策を全職員がしっかりと対応していき、次年度も、感染対策・感染予防に努めていく。

入居者様に楽しみのある生活を送って頂ける様、毎月1回のペースで、レクリエーションを企画していたが、新型コロナウイルスの対策等により、大幅に縮小しての実施となったが、春夏秋冬と季節に合わせた企画を実施する事が出来た。

離職者ゼロを目標に掲げていたが、職員2名(非常勤1名)の離職者が出てしまった。新入職員3名(非常勤1名)の指導について、ユニットリーダーが中心となり、スキルアップに努めた。

〔10〕 デイサービス

生活相談員 細田恵実

【安心してご利用いただけるデイサービスの運営】

ご利用者様、ご家族様に信頼されるデイサービス作りを目標とした。

【利用受け入れ態勢の強化】

ご家族様のご希望に合ったご利用曜日を相談にて設定、入浴形態もご本人様の意思に沿って実行受け入れ行った。

【個別援助の充実】

ご利用者様の多彩なニーズに応え、アクティビティ及び各種体操に加え積極的な声掛けを実施し、機能訓練士の指導の下、個別機能訓練を行った。

感染予防に対してはご利用者様来所時に「うがい」・「手洗い」をして頂き、昼食前、間食前にはテーブルの消毒及び手指消毒を一人一人行い、利用中10時・14時・16時の体温測定等行った。利用者様帰宅後のサニタリー空間及びデイルーム、テーブル、椅子、手摺等アルコール及び床面は次亜塩素消毒を毎日実践今後も引き続き感染予防対策に取り組む。

【営業内容】

定期的な居宅支援事業所への連絡を行い利用者獲得に努めた。

【感染者発生に伴い休業期間】

感染者発生に伴い1月18日(月)から1月26日(火)の期間デイサービス営業自粛とした。

【登録者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年度	57	59	63	64	64	59	58	60	61	60	59	58
2年度	55	53	53	54	55	53	52	50	50	49	51	51

【一日平均利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年度	19.1	18.9	18.8	20.9	21.4	24.9	24.6	24.8	25.1	24.1	23.3	22.4	22.4
2年度	17.1	18.5	21.5	22.9	21.9	21.5	22.3	22.4	20.5	12.5	20.9	21.5	20.1

【延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年度	505	502	470	564	593	515	566	516	501	482	464	493	6171
2年度	383	389	473	527	461	473	492	472	431	266	418	495	5280

【欠席内容】

	欠席者数	SS利用	都合	入院	他SS利用	体調不良
1年度	1114	229	211	233	72	369
2年度	1243	136	407	334	27	339

※ 新型コロナウイルスの感染の恐怖から自己都合で休む方が増加した。

〔11〕 ショートステイ

生活相談員 佐藤 嘉昭

【事業報告】

・ 利用延べ日数：8,489日

→内訳：* 空床利用率：64.37%

8,489-(365日×18床)=1,919床/2,981床(特養空床累計数)

* 平均要介護度：3.5 (男 2.8、女 3.7)

* 平均年齢：83.43歳 (男 82.21歳、女 83.34歳)

・ 1日あたりの利用者数：22.5人/日 (対年間目標：+1.5人/日)

・ 新型コロナウイルス感染防止の徹底や発熱などの容態変化時に的確かつ迅速な対応ができた。当該感染症は発生せず蔓延することは無かった。引き続き、関係機関やご家族様と協力・連携して感染防止を行なう。

・ 新型コロナウイルスの影響で、受入を一時中止した時期があった。受入再開後は、事業活動に大きな影響は無く、今後も柔軟な対応を行なう。ご利用者様が安心、安全にご利用できるよう関係機関と連携・共有し適当な措置を講じていく。

〔12〕居宅介護支援事業所

管理者 佐藤 聖子

【1】事業稼働の年間目標について

令和2年度を振り返り、職員の退職が5月に1名有りましたが、影響等無く安定した稼働実績となり、十分に目標を達成できております。

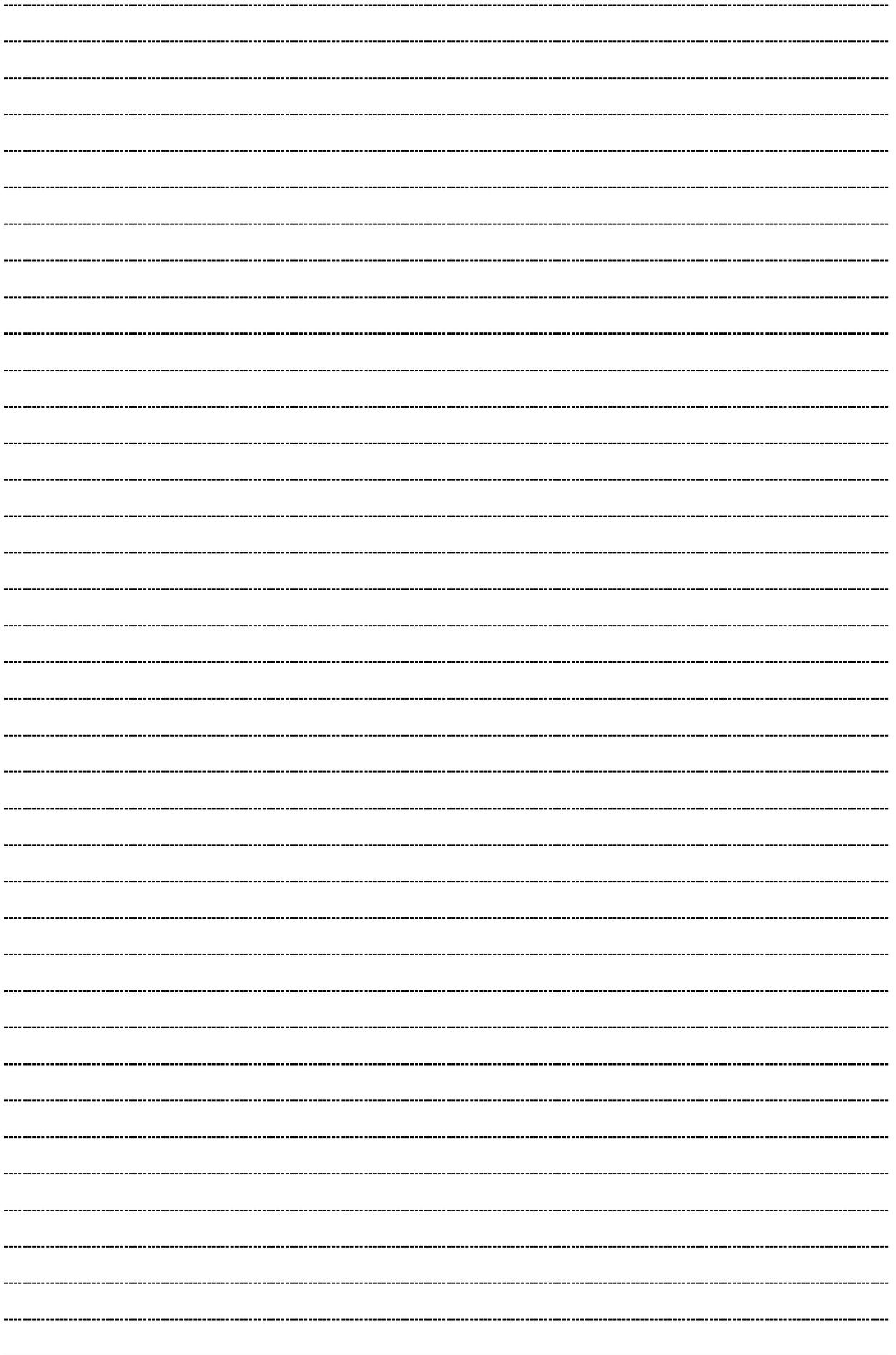
又、介護予防支援においては、他法人居宅介護支援事業所では介護支援専門員1人当たり1～2件の委託状況である中、当事業所においては年間平均2名以上の目標に対し、常勤介護支援専門員1人非常勤介護支援専門員1人で13件の委託を受け入れており、実績の安定他、地域包括支援センターとの信頼関係の構築へ繋げる事が出来ました。

【2】認定調査委託業務について

昨年度においては、新型コロナウイルス感染症予防により法人内の感染予防を優先し、調査依頼の見送りをさせて頂きました。

【3】その他事業指針について

上記同様、新型コロナウイルス感染症予防を踏まえ、日常的なケアマネジメント業務における訪問、担当者会議等が従来通りの実施が困難な状況となり、昨年度は介護支援専門員の応用力と技量が問われる一年となりました。厚生労働省や保険者からの通知や、地域包括支援センターへの相談を踏まえた上で、対面による集団会議への参加は欠席又はオンラインによる出席の徹底、ケアマネジメント業務においても、状況に応じてオンラインの活用等を実施しました。又、法人内の会議や研修においても、原則オンラインによる出席とし、可能な限りの対応となりました。



令和2年度 事業報告書

2021年（令和3年）6月1日 発行・印刷

監修・編集 社会福祉法人 芳清会

印刷・製本 社会福祉法人 芳清会

TEL 049-247-7311

FAX 049-247-7312

URL <http://www.houseikai-y.jp/>

E-mail yasenosato@houseikai-y.jp